

# 弟子屈町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

弟子屈町は、北海道の東部に位置し、摩周湖や屈斜路湖などの優れた景勝地や観光資源に恵まれていて、多くの観光客が車両で訪れている。

こうした現状から平成17年度に環境にやさしい観光交通体系の構築に向けた取り組みを開始、平成20年度には「弟子屈町地域公共交通総合連携計画」を策定し、弟子屈町の地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針を「環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築」として定め、公共交通活性化と観光交通体系構築との一体的な取り組みを推進してきた。令和元年度には、変化していく社会経済情勢に対応した地域公共交通網の形成に向けて「弟子屈町地域公共交通網形成計画」を策定し、高齢化社会を見据え、誰もが安心して暮らすことができるための交通網確立に向けて進めている。

また、令和6年度には「弟子屈町地域公共交通計画」を策定し、住み慣れた地域に暮らし続けることができる移動手段の確保に向け推進していく。

地域における生活の足として、本町の地域間幹線であるJR釧網本線と接続したバス等の身近な公共交通を維持確保していく必要性は非常に高く、また、路線の見直しを行うことで、今後の利便性の向上や利用者数の減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続可能な公共交通体系として再構築することを目的とする。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

H25年度事業で路線延長した美留和線に加え、H26年度には地域協働推進事業での利用者ヒアリング及びワークショップの意見を反映させた「川湯線」の路線延長を行うことで利便性の向上が図られ、更にH27年3月より利用者意見を反映させて「弟子屈市内線」の路線延長を行った。

目標数値としては人口減少を鑑み、令和5年度と同等の目標としている。

市内線目標値4,500人、美留和線目標値11,000人、川湯線で目標値7,000人、目標合計22,500人。

## 令和6年度事業概要

- ①美留和線 摩周営業所～摩周分岐～大鵬相撲記念館前(川湯温泉街と弟子屈市街を結ぶ路線(27.2km)。1日3.0回運行、150～840円の運賃)
- ②川湯線 大鵬相撲記念館前～苗畑入口～大鵬相撲記念館前(川湯温泉街とJR川湯駅を結ぶ路線(5km)。1日6回運行、160～290円の運賃)
- ③弟子屈市内線 桜町団地前～摩周駅～桜町団地前(弟子屈市内を循環する路線(20.3km)。1日4.0回(1,6便各1.0回)運行、150円一律運賃)

## 地域公共交通の現況

- ①JR釧網本線  
(川湯温泉駅、美留和駅、摩周駅)
- ②阿寒バス(株)(町内5路線)

## 協議会開催状況

令和6年6月25日 第1回協議会を開催

○主な協議事項

令和5年度事業完了報告及び収支決算報告について  
令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について  
令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画について  
弟子屈町地域公共交通計画について

令和6年11月27日 第2回協議会を開催

○主な協議事項

令和6年度事業実施状況の中間報告について  
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について  
バス路線再編について  
買い物ハイヤー実証運行の事業概要について

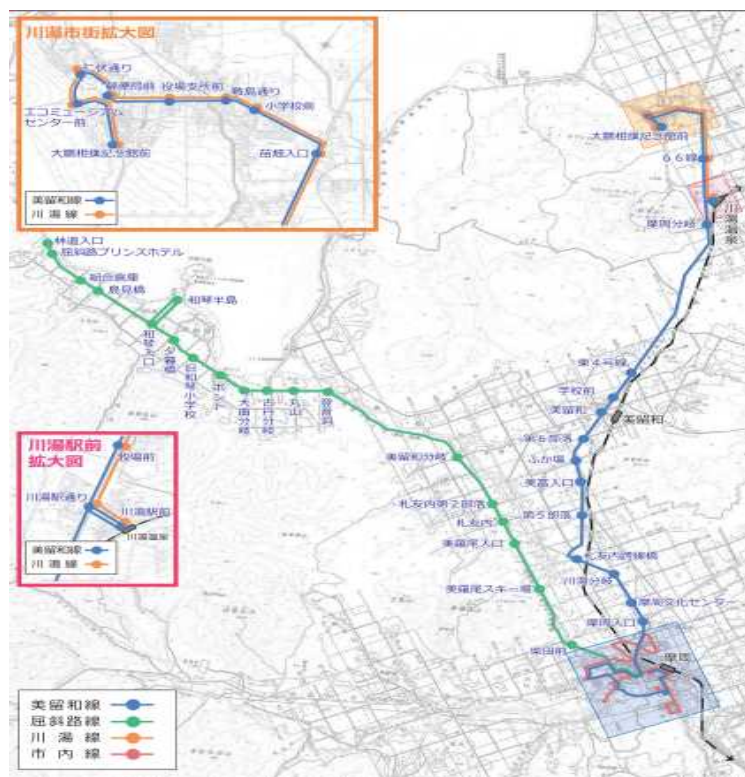
# 令和6年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

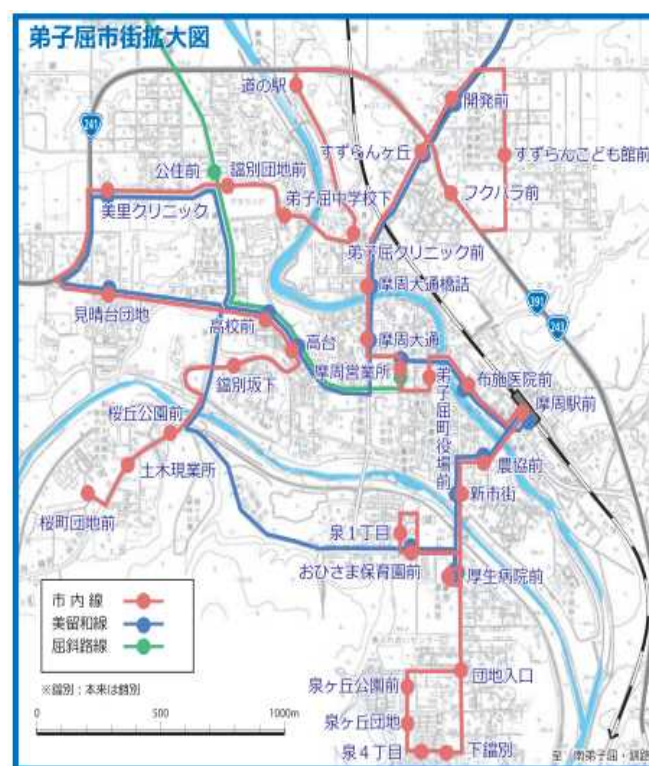
- ・「冬の弟子屈えこパスポート」事業の実施(令和6年1月27日～3月3日 37日間)
- ・「夏の弟子屈えこパスポート」事業の実施(令和6年7月27日～9月1日 37日間)
- ・町内の免許返納を考えている高齢者、子供の公共交通利用促進に向けた体験乗車会を実施

## 2) 運行系統

### 美留和線及び川湯線



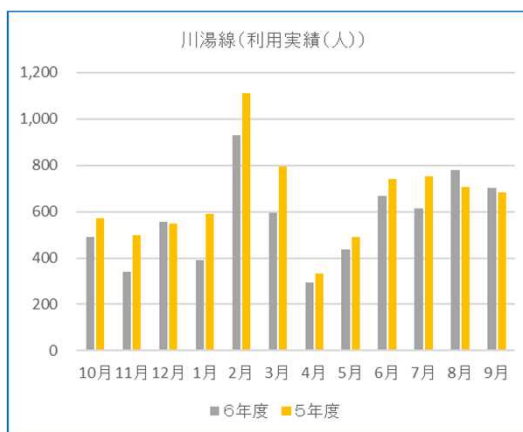
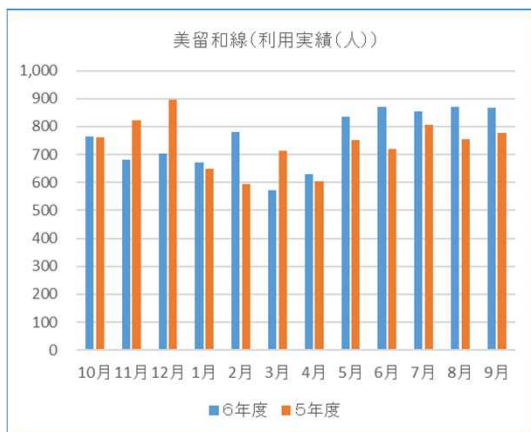
### 弟子屈市内線



拡大図内の停留所間は、**150円均一運賃区間**です。

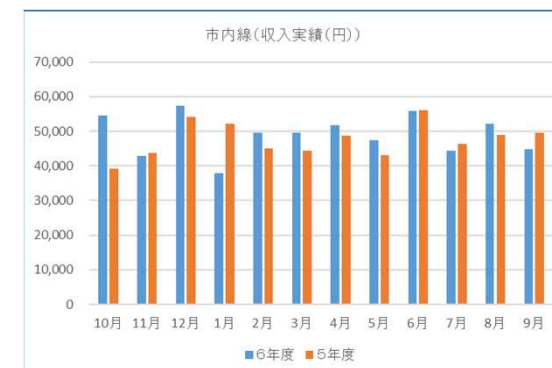
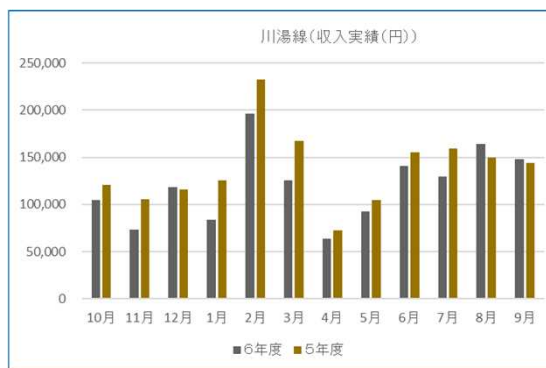
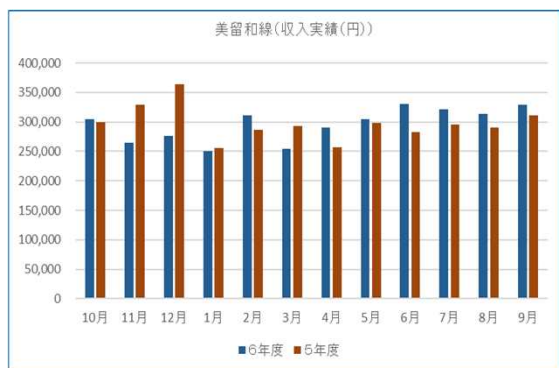


### 3) 利用実績



利用実績(人)		R5(2023)			R6(2024)									
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
美留和線	6年度	765	680	704	673	779	573	629	836	870	853	871	868	9,101
	5年度	760	823	896	650	595	713	605	752	720	807	756	777	8,854
川湯線	6年度	490	340	558	391	931	594	294	436	668	615	779	704	6,800
	5年度	571	498	548	592	1,109	794	334	490	740	753	705	685	7,819
市内線	6年度	473	368	498	326	432	429	448	410	483	380	449	388	5,084
	5年度	336	375	466	451	388	380	423	372	485	401	421	426	4,924

### 4) 収入実績



利用実績(円)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
美留和線	6年度	304,471	264,188	276,162	249,887	310,798	254,451	290,732	304,369	330,970	322,014	314,006	328,852	3,550,900
	5年度	299,023	328,687	363,569	255,821	286,514	292,649	256,788	298,260	282,195	296,197	290,679	310,643	3,561,025
川湯線	6年度	104,898	73,661	118,495	83,831	195,822	125,647	63,732	92,961	140,697	129,869	164,315	148,058	1,441,986
	5年度	120,922	105,824	116,230	125,884	232,186	167,515	72,689	104,425	155,624	159,150	149,249	144,166	1,653,864
市内線	6年度	54,550	42,930	57,292	37,899	49,648	49,549	51,768	47,413	55,746	44,330	52,067	44,755	587,947
	5年度	39,211	43,792	54,122	52,182	44,973	44,264	48,649	42,975	55,964	46,280	48,857	49,505	570,774

## 5) 事業実施の適切性

事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

## 7) 事業の今後の改善点

昨年度対比では、全体の輸送人員が微減となったが、コロナ過前の数値に戻りつつある。

バス体験乗車会については好評であり、免許返納を考えている高齢者及び子供の公共交通を体験してもらえる良い機会なので、今後も継続し利用促進につなげたい。

バス路線再編を進め、利用者の利便性向上及び、運転手不足解消に向け検討を進める。

交通空白地における交通実証実験を行い、新たな交通手段としての可能性を調査し、アンケート調査で得られた公共交通へのニーズ等を反映した、より住民が利用しやすい公共交通の再構築を目指す。

## 6) 目標・効果達成状況

令和6年度(R5.10~R6.9)の年間輸送人員の結果

美留和線9,101人(8,854人) 前年度比 247人 102.8%

川湯線で6,800人(7,819人) 前年度比 -1,019人 87.0%

市内線(1便、6便を含む) 5,084人(4,924人)

前年度比 160人 103.2%

合計20,985人(21,597人) 前年度比 -612人 97.2%

※各系統の輸送人員( )は前年度事業の数値になります。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・美留和線、市内線で目標を上回っており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。